

科目名	哲学概論Ⅰ			担当教員	安部 日珠沙、安部 日珠沙	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1SPE201
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	(1) 西洋哲学の主要な流れや思想に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。 (2) 哲学的なものの見方や考え方を身に付け、物事を根本的に問い直す姿勢や態度を養う。 (3) 哲学に関する自身の考えを、自らの言葉で適切に表現したり説明したりできるようになる。					
授業の概要	本授業は講義（13回）とグループワーク（2回）から構成される。講義（第2～13回目）においては、古代から近代までの主要な西洋哲学思想について学習し、哲学に関する基礎的・基本的な知識の習得を目指す。グループワーク・発表（第14～15回）においては、習得した知識を踏まえながら、今を生きる自分達の在り方を問い直し、探究するためのツールとして活用することを目指す。総じて、自ら哲学するための基礎的・基本的な知識や技能を培っていく。 【デジタル技術利用：該当なし】					

授業計画	
第1回	ガイダンス：本授業の進め方の説明／なぜ「哲学」を学ぶのか
第2回	古代の哲学Ⅰ（ソクラテスとプラトン）
第3回	古代の哲学Ⅱ（アリストテレス）
第4回	古代の哲学Ⅲ（ストア学派とエピクロス学派）
第5回	中世の哲学（スコラ哲学）
第6回	近代の哲学Ⅰ（ベーコンとデカルト）
第7回	近代の哲学Ⅱ（スピノザとライプニッツ）
第8回	近代の哲学Ⅲ（カント）
第9回	近代の哲学Ⅳ（ヘーゲル）
第10回	近代の哲学Ⅴ（功利主義）
第11回	近現代の哲学Ⅰ（ハイデガー）
第12回	近現代の哲学Ⅱ（サルトル）
第13回	近現代の哲学Ⅲ（ミシェル・フーコー）
第14回	グループワーク：哲学すること
第15回	発表・まとめ

事前学修	2時間	前時の講義内容を再確認し、上記「授業計画」中の語句の語彙や概念を書籍・インターネットなどを用いて調査・確認する。
事後学修	2時間	前時の講義内容と比較検討しながら、授業資料をもとに本時の講義内容を復習したり、授業資料に記載された参考資料などを閲覧・確認して理解を深めたりする。
フィードバックの方法	(1) リアクションペーパーを通じて寄せられた意見や質問等については、次回の授業開始時に回答・説明を行う。 (2) 成績発表後に定期試験の返却を行う（詳細は別途連絡）。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	50%	筆記試験（論述形式）
レポート	20%	グループワークの課題

上記以外の試験・平常点評価		30%	リアクションペーパー
補足事項	定期試験（50％）：問いに対する自分の意見を、適切な表現を用いて、哲学的見地から、理論的に述べるができているかを評価する レポート（20％）：テーマに関する自身と他者の考えを比較検証しながら、自分自身の意見を理論的に説明できているかを評価する。 平常点評価（30％）：毎回リアクションペーパーを配付するので、授業内容に関する疑問・意見・感想等を記して提出すること（出席票として扱うため、未提出の場合は欠席扱いとする）。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて授業中に適宜提示する。			